

平成24年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年 2 月 9 日

上 場 会 社 名 株式会社リミックスポイント 上場取引所 東
 コー ド 番 号 3825 URL http://www.remixpoint.co.jp
 代 表 者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）高田 真吾
 問合せ先責任者 （役職名）管理本部長 （氏名）足立 啓治 (TEL) 03 (6206) 2220
 四半期報告書提出予定日 平成24年 2 月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年 3 月期第 3 四半期の業績（平成23年 4 月 1 日～平成23年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年 3 月期第 3 四半期	176	—	△43	—	△10	—	17	—
23年 3 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年 3 月期第 3 四半期	360 53	355 40
23年 3 月期第 3 四半期	—	—

（注）平成23年 3 月期第 3 四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していたため、記載しておりません。また、前年同四半期増減率についても記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年 3 月期第 3 四半期	269	62	23.1
23年 3 月期	336	45	13.4

（参考） 自己資本 24年 3 月期第 3 四半期 62百万円 23年 3 月期 45百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年 3 月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年 3 月期	—	0 00	—		
24年 3 月期(予想)				0 00	0 00

（注） 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年 3 月期の業績予想（平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	287	—	△38	—	△22	—	4	—	99 33

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	48,191株	23年3月期	48,191株
24年3月期3Q	120株	23年3月期	120株
24年3月期3Q	48,071株	23年3月期3Q	27,587株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成23年9月1日付けで、当社連結子会社でありました、株式会社ディーシースクエアを吸収合併いたしました。これにより、平成24年3月期第2四半期から単独決算となっております。
- ・第2四半期累計期間から、四半期財務諸表を作成しておりますので、四半期損益計算書の前第3四半期累計期間については記載しておりません。
なお、四半期連結損益計算書を補足情報（P9）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 追加情報	7
(6) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	9
(1) 四半期連結損益計算書	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の落ち込みから経済活動の正常化に向けた動きが見える中、欧州の金融不安に加え、深刻な欧米経済の落ち込みによる円高の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間において当社は、平成23年9月1日付けで連結子会社である株式会社ディーシースクエアを吸収合併し、経営資源の集約化を行うとともに、経営合理化の重点施策である「事業・製品およびサービスの選択と集中」の一環として、平成23年12月28日付けで予ねてより業務提携関係にありました株式会社デジタルデザインとソフトウェア事業の一部譲渡契約を締結し、組織運営の効率化、事業推進力の強化に注力してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間は、売上高は176百万円、営業損失43百万円、経常損失10百万円、四半期純利益17百万円となりました。なお、当社は、ソフトウェア開発関連事業のみであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における資産合計は、269百万円となり、前事業年度末（336百万円）に比べ67百万円減少となりました。その主な要因は、現金及び預金59百万円、未収入金43百万円の減少があったこと等によるものです。

負債合計は207百万円となり、前事業年度末（291百万円）に比べ84百万円減少となりました。その主な原因は、社債61百万円、未払金17百万円、前受金13百万円の減少があったこと等によるものです。

なお、純資産は、62百万円となり、前事業年度末（45百万円）に比べ、17百万円の増加となりました。その主な要因は、株式会社ディーシースクエアとの合併による29百万円の特別利益の計上等により、利益剰余金17百万円の増加があったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間につきましては、平成23年11月11日に開示いたしました当期業績予想に対し、堅調に推移しており、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、当第3四半期累計期間において、四半期純利益が計上されたものの、継続的かつ安定的な利益計上に不確実性が認められることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じさせるような状況が存在しております。

当社は当該状況を解消すべく、今後における業績維持および収益確保に向け、当社の主力製品である中古車流通・販売サービス事業者向け中古車査定システム「IES (Inspection Expert System)」の新モデルとなるタブレット端末向けアプリケーションの開発に注力してまいります。さらに、より一層の経営合理化策を進め、経営資源の集約とコスト削減の継続的な実現に取り組んでまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上にあり、景気の動向及び情報サービス産業市況にも影響されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期財務諸表は、継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期財務諸表に反映しておりません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	214,398	154,491
売掛金	16,934	10,625
製品	15,747	13,651
前払費用	8,626	9,410
未収入金	60,053	17,037
立替金	2,693	4,088
短期貸付金	57,650	74,650
その他	5,456	2,655
貸倒引当金	△92,349	△69,761
流動資産合計	289,210	216,847
固定資産		
有形固定資産	8,288	10,425
無形固定資産	23,686	33,384
投資その他の資産		
投資有価証券	1,279	960
関係会社株式	0	—
長期前払費用	4,469	1,942
敷金及び保証金	9,536	5,995
固定化営業債権	25,580	23,658
その他	—	2,032
貸倒引当金	△25,083	△25,690
投資その他の資産合計	15,781	8,897
固定資産合計	47,756	52,707
資産合計	336,967	269,555
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,819	8,420
1年内償還予定の社債	129,600	126,400
未払金	25,563	8,117
未払費用	14,935	18,906
未払法人税等	3,426	4,100
未払消費税等	—	3,558
前受金	18,861	5,264
預り金	6,028	4,963
その他	1,308	1,415
流動負債合計	203,543	181,146
固定負債		
社債	81,600	20,000
リース債務	5,098	4,023
その他	1,414	2,062
固定負債合計	88,113	26,086
負債合計	291,657	207,232

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	934,663	934,663
資本剰余金	854,663	854,663
利益剰余金	△1,725,295	△1,707,964
自己株式	△18,000	△18,000
株主資本合計	46,031	63,362
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△720	△1,040
評価・換算差額等合計	△720	△1,040
純資産合計	45,310	62,322
負債純資産合計	336,967	269,555

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	176,546
売上原価	83,829
売上総利益	92,717
販売費及び一般管理費	136,694
営業損失(△)	△43,977
営業外収益	
受取利息	830
受取配当金	13
貸倒引当金戻入額	22,552
償却債権取立益	9,523
その他	5,041
営業外収益合計	37,962
営業外費用	
支払利息	3,058
支払手数料	1,044
営業外費用合計	4,102
経常損失(△)	△10,117
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	29,278
特別利益合計	29,278
特別損失	
特別損失合計	—
税引前四半期純利益	19,160
法人税、住民税及び事業税	1,830
法人税等合計	1,830
四半期純利益	17,330

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

当社は、当第3四半期累計期間において、四半期純利益が計上されたものの、継続的かつ安定的な利益計上に不確実性が認められることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じさせるような状況が存在しております。

当社は当該状況を解消すべく、今後における業績維持および収益確保に向け、当社の主力製品である中古車流通・販売サービス事業者向け中古車査定システム「IES（Inspection Expert System）」の新モデルとなるタブレット端末向けアプリケーションの開発に注力してまいります。さらに、より一層の経営合理化策を進め、経営資源の集約とコスト削減の継続的な実現に取り組んでまいります。

しかしながら、これらの対応策は実施途上にあり、景気の動向及び情報サービス産業市況にも影響されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期財務諸表は、継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期財務諸表に反映しておりません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

当第3四半期累計期間に、株式会社ディーシースクエアを吸収合併したこと等により、利益剰余金が17,330千円増加しております。これは抱合せ株式消滅差益29,278千円の計上等によるものであります。

(5) 追加情報

株式会社デジタルデザインとの事業の一部譲渡契約について

当社は、平成23年12月28日開催の取締役会において、株式会社デジタルデザインに、当社が手掛けるソフトウェア開発関連事業の一部を譲渡する契約について決議を行い、同日付けで事業の一部譲渡の契約を締結しております。

その主な内容は、次のとおりであります。

①譲渡対象事業の内容

譲渡対象事業における資産及び負債並びに開発、営業権

②譲渡価格及び決済方法

譲渡価額：25,000千円（予定）

なお、譲渡価額については譲渡日前日における譲渡対象資産・負債の簿価価額をベースに決定する予定です。

決済方法：現金決済

③事業譲渡の時期

平成24年2月1日

(6) 重要な後発事象

当第3四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

5. 補足情報

平成23年8月31日まで連結子会社でありました株式会社ディーシースクエアと平成23年12月31日で連結した場合の四半期連結損益計算書は以下のとおりであります。

(1) 四半期連結損益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	453,041	290,637
売上原価	259,917	144,785
売上総利益	193,124	145,851
販売費及び一般管理費	316,241	149,126
営業損失(△)	△123,117	△3,274
営業外収益		
受取利息	10	830
受取配当金	—	13
還付消費税等	4,499	—
貸倒引当金戻入額	—	465
償却債権取立益	—	9,523
その他	550	24
営業外収益合計	5,060	10,858
営業外費用		
支払利息	6,777	3,058
支払手数料	18,683	1,044
株式交付費	24,152	—
その他	8	—
営業外費用合計	49,621	4,102
経常利益又は経常損失(△)	△167,679	3,481
特別利益		
子会社株式売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	814	—
償却債権取立益	1,431	—
特別利益合計	2,246	0
特別損失		
過年度訂正に係る損失	21,869	—
減損損失	3,244	—
課徴金	1,500	—
特別損失合計	26,614	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△192,047	3,481
法人税、住民税及び事業税	2,182	1,950
法人税等合計	2,182	1,950
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△194,230	1,530
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△194,230	1,530